



著者プロフィール

森賀まり（もりが・まり）

1960年 愛媛県生まれ

句集『ねむる手』『瞬く』

詩集『河へ』

田中裕明との共著『癒しの一句』

「百島」「静かな場所」同人 俳人協会会員

〈句集『しみづあたたかをふくむ』より転載〉

〈2022年4月15日時点〉

『しみづあたたかをふくむ』（自選15句）  
森賀まり

雨太く棟の花に吹き込める  
こぼるぎの滴のごときかちうべかな  
初秋や氷の中の魚の目  
秋の蜘蛛息吹きかけてすこし追ふ  
夏落葉足音の無き人とある  
鳥の巢の踏みくぼみたるところかな  
冬空や来るといふ人来る途中  
クロツカス指入れて履くうすき靴  
洗顔のあとに夜明やほととぎす  
天牛やかすかに風の押す力  
セーターの毛玉仕方のなき人よ  
白桃や過去のよき日のみな晴れて  
靴下のちひさく乾く寒さかな  
うすいるの影をいくつも夜店の灯  
菊人形夕日をながく見てありぬ